

第68回理事会（平成14年度第7回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成15年4月1日（火）17:12～18:55
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第1会議室
3. 出席理事 会長：河野 洋平、副会長：廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄、
専務理事：山田 隆、常務理事：片 忠夫、渡辺 三郎、菊地富士夫、
越前谷芳隆、
理事：早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、
徳本 進、堀 祐樹、長久保巖、斎藤 幸雄、岡本 洋一、
木村 徳善、菊池 勇二、清水 忠、栗田 謙悟、平沢 幸一、
本宮 敏宏 （現理事数21名）
うち委任：河野 洋平、渡辺 三郎、菊地富士夫、早川 博基、長久保巖、
斎藤 幸雄、岡本 洋一、（7名）
- 出席監事 井駒 利一、徳田 盾夫
- 出席参与 なし
4. 議長選出 山田専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 斎藤理事、木村理事を選出
6. 書記 守谷紀幸広報委員を指名
7. 議事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

事業報告

平沢理事から、次の各事業について報告があり了承した。

- ・第1回チャレンジカップ第2戦岩岳大会
- ・第58回国民体育大会
- ・第61回神奈川県スキー選手権
- ・第54回神奈川県総合体育大会スキー競技
- ・第2回神奈川県マスターズ選手権大会
- ・競技本部各事業決算報告

なお、決算報告で、上越4連戦については50万円ほどの赤字が出る見込みで、理由は予算上19人の役員が実績では26人となっていたこと、プログラムの代わりにリザルトを配付したことによるコピー代の増などがあり、昨年と同様の状況なので、決算終了後次年度の予算計上に反映をさせたいとのことであった。また、越前谷理事から、国体については、県体協からの補助金が当初予想より多く、県連会計からの持ち出し幅が従来より圧縮できそうだとの報告があった。

また、マスターズについては、予算計上がなかったが理事会で承認を受け、役員を2名派遣した。同事業について、野地副会長から、指導委員会との共催事業だが、県連からの申込は13人と少なく、PR不足であり、オール神奈川からの参加者を含めて123人という参加人員であった。反省点として、指導委員会との事前調整が十分でなく、指導委員会と県連の共催の意味合を考えなければならない点があった。何よりも県連からの参加者を増やさなければならないと感じたとの発言があった。

続いて、各事業報告に対して、山田専務理事から、参加人員数の前年度と今年度の対比表を報告に添付するよう要望があり、各本部とも了解した。

(2) 審議事項

続いて、平沢理事から次の事項について審議されたい旨提案があり、以下のとおり決定された。

部外者大会運営役員依頼について

第1回チャレンジカップ第3戦野辺山大会における、主審を相模原スキー協会の門倉敏行氏に依頼するため、同氏を部外者役員として派遣する。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

菊地(勇)理事から、次の各事業について報告がありました。

- ・車山行事
- ・五竜行事
- ・車山行事
- ・第40回全日本スキー技術選手権大会
- ・第2回環富士山スキー技術選手権大会
- ・車山行事
- ・その他

車山 ではスノーボードのデータが届いていない。

車山 の準指導員検定会の参加者は213人で、前年より20人減少している。

全日本技選では、佐藤、尾花の2選手が準決勝に進んだ。

環富士山技選は、参加者は前年より60人増加している。やはり、神奈川からの参加者が圧倒的に多くなっている。

車山 では、ハンディキャップ委員会の検定会も同時開催され、1級に4人のチェアスキー合格者があった。

2月の指導員検定会は、朝里川以下3会場で59人が受験し、42人が合格している。A級検定員には3人が受験し全員が合格しているが、3人とも専門委員であった。

車山 のC級検定会で不合格者がいるが理由は何かとの質問があり、実技には問題がなかったが、筆記試験の成績が悪かったため不合格となったとの回答があった。

ここで、山田専務理事から、総務本部から競技・教育両本部にセクレタリーとして理事を派遣しているが、両本部ともセクレタリーの意味を理解していないように思われる。例えば、競技本部でセクレタリーをノルディックの担当としてアルペンの行事に参加させていないというようなことである。セクレタリーは、その本部の実施する行事全体の人員の割り振りや備品の適正な管理、行事の進行についての現場とは違った視点での配慮がその仕事である。何のためのセクレタリーなのか、考え直してもらいたい。そういう点で気配りや意見を言える人材を配置したつもりである。今後、行事が始まる直前まで、セクレタリーや現場派遣の総務理事とよく打ち合わせをして来シーズンの各行事の実施に当たられたいとの要望があり、各本部とも了解した。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係

片総務本部長から、東京都スキー連盟の副島専務理事の逝去に伴う香典及び花輪の報告がありました。

資金運用状況

上田理事から、2月末の預金残高は、約1,999万円で、前年同時期より300万円ほど多いが、これは国体の補助金が多かったことに起因するとのことであった。また、支出に関しては、ほぼ例年並の推移を見せているとの報告があり、了解した。

また、同理事から、そろそろ各行事の収支決算報告を願いたいとの要望があり、各本部とも了解した。

さらに、平沢理事から予算編成のための会議費は、評議員会のための作業なので、総務費で支出してほしい旨の発言があり、来年度以降検討することとした。

登録関係

柴田理事から、3月31日付で、6,060人で、昨年より360人ほど減少しており、一昨年の7,200人から、なお下げ止まっていないとの報告があり、了解した。

また、同理事から、競技資格者及び準指導員、正指導員の今年の合格者名簿を有資格者の把握のため提出されたいとの要望があり、各本部とも了解した。

各種委員会

- ・スノーボード委員会

車山の級別検定の予算が計上されていなかったため苦労したとの話があったが、担当理事が欠席のため次回以降検討することとした。

- ・ハンディキャップ委員会

越前谷理事から第2回のスキー教室を実施したが、totoの助成に対する報告書の提出

期限が4月10日なので、現在報告書を作成中との報告があり、了承した。

・広報委員会

徳本理事からSAKだより第45号の発行作業に入っており、今月末の発刊を予定しているとの報告があり了承した。

(2) 審議事項

活性化委員会メンバーについて

片総務本部長から、同委員会委員及び活動時期について別紙のとおりとしたい旨の提案があり、了承したが、答申がでた後でよいかからブロック毎の協会長・理事長会議等を検討してはどうかとの意見が出され、規約規定委員会でも前向きに検討していくこととした。

規約規定委員会

片総務本部長から4月24日開催予定であり、ブロックの規定と役員選出の見直しを議題としたい旨の提案があり、了承した。

評議員会の日程について

上田理事から5月24日(土)10時開催予定で、4月30日に予算資料を完成したいので、4月半ばまでに実績の詰めを行わないと資料作成が間に合わないの、各本部の事業担当者は、よろしく御協力願いたいとの発言があり、了承した。

平成15年度(神奈川年度)日程の調整について

県総体の会場を移す五竜が県総体の期間大きな大会が入ってしまった関係で、他の行事との日程調整を行った方がよいか、審議を行い、次のとおり決定した。

・県総体：従来どおり(2月27~29日)

・準指検定：従来どおり(3月5~7日)

・県選手権：参加者が減っている関係で日程を再検討し、できるだけ早目に結論を出す

また、千葉県と共催する行事については、早目に日程調整し、文書で依頼を出しておくよう注意があった。さらに、山田専務理事から他府県との交流を図る目的から、メインの研修会の講師を3・4名ずつ千葉県連と交換して実施したいとの提案があり、了承した。

その他

片総務本部長から、総務理事と広報委員が各行事に役員として参加しているが、事業本部理事との役割分担がはっきりしないので、取りまとめたい。各事業の報告書は、各本部の担当理事が書くこと、予算にかかわる金銭の支払いと決算は総務理事が行うこと、広報委員は客観的な立場でPRするのであって、リザルトを勝手に持ち出すわけにはいかないの、その線引きをきちんとおこなって欲しい旨の発言があり、山田専務理事から、両セクレタリーと総務本部理事でおおのの守備範囲を明確に決定してほしいとの提案がありそのように決定した。

4) その他

(1) 県選手権大会のSAJ公認大会への格上げについて

廣瀬副会長から、同大会の技術系大会は全日本B級公認大会に格上げできないか、との提案があり、参加者が140名に限定されるとの話もあるが、最近の動向ではもっと多くてもいいとの情報もあり、オープン化も含め研究していくこととした。

(2) 安全対策委員会について

山田専務理事から、都会における安全対策委員会のあり方として、ハンディキャップ委員会と合同して、障害者の参加を担っていくことにしてはどうかとの提案があり、今後の検討課題とすることとした。

(3) 監事から

徳田監事から、これまでの決算では参加した役員と金額が合っていないケースがあったが、今年は前もって資料が出ているようなので、その辺は意識されていると思うとの発言があり、また、活性化委員会のメンバーについて、各協会に連絡の文書を出すのかとの質問があり、山田専務から文書を出し、さらに協会長・理事長会議を開催して、浸透を図っていききたいとの答弁があった。また、理事会での決定事項はどういう形で、各協会に伝えられるのかとの質問があり、理事会の議事録は評議員会で各協会に配付するが、早目にみたい方はHPで見ることができるとの答弁があった。

井駒監事から、競技者登録の人数が出ていないが、SAKとSAJの2種類について報告願いたいとの発言があり、片総務本部長からポイント委員会でも把握しているとの回答があったが登録なのだから県連でまとめる必要ありとの指摘があったので、競技本部の平沢理事から総務

本部の柴田理事に報告することとした。

次に、競技の印刷費が多いというところで、リザルトの書式が特殊なので無駄がでていると思われるとの意見があり、検討することとした。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成15年 月 日

議 長

議事録署名人

印

議事録署名人

印